

旧街道ウォーク349★番外編「江戸検定一級合格者と歩く大江戸探訪ツアー」活動報告

【日時・天候】2009年9月13日（日）11:00～17:10 晴れ

【コース】四谷見附跡 → 尾張家中屋敷 → 喰違見附跡 → 井伊家中屋敷 → 紀尾井坂 → 清水谷坂 → 清水谷 → 弁慶橋 → 〈昼食〉 → 赤坂見附跡 → 諏訪坂 → 高野長英学塾跡 → 山田浅右衛門屋敷跡 → 平河天満宮 → 渡辺華山生誕地 → 井伊家上屋敷跡・桜の井跡 → 柳の井跡 → 桜田門 → 二重橋 → 坂下門 → 大手門 → 東御苑〈休憩〉 → 平河門 → 竹橋 → 田安門（9km）

【参加者】○百街道一步、☆梶川義実、片桐拓朗、加藤栄子、児山文一、高梨健一、高橋謙、千川明、寺村映、△長谷川万里子、平野隆、古里実、水谷晴子、森崎千恵子、△谷貝等、△谷貝葉月（16名）（○は主催者、☆は企画者、△は部分参加）

【概況説明】 この日は、9月に入ったこともあり、日なたでは暑かったもののさすがに日陰では涼しく感じられる秋の1日でした。四ツ谷駅からお濠の土手を南へ進み、喰違見附跡を眺めたあと紀尾井坂を下り、清水谷公園へ。その先、赤坂見附の弁慶橋をわたり、駅周辺で昼食休憩となりました。赤坂御門跡、諏訪坂を上がり平河町へ。ここで高野長英学塾跡（の碑）を探し当てたあと平河天満宮へ詣でました。国立劇場のわきを抜けてお濠端へ出て、渡辺華山生誕地、柳の井、桜の井跡をそれぞれ見たあと桜田門をくぐり皇居前広場へ。大手門から皇居東御苑に入り、富士見櫓を大急ぎで見てから平河門を出て、さらに竹橋、北の丸公園を抜けて田安門をくぐって終了となりました。

【評価結果】 今回の評価項目は全体のみとしましたが、全員A評価という結果になりました。普段とおっている場所での意外な発見、江戸城や各門への評価、主催者の詳細かつ明快な説明などを評価した人が多かったようです。また、印象に残った場所としては、平河天満宮、桜田門、二重橋、皇居東御苑、平河門を挙げた人が多く、都心に残る歴史的建造物への感心の高さが現れました。

【参加者の評価結果】

1. ◆全体を歩いた感想 評価点（5.00） 内訳AAAAAAAAAAAA

A：一步先生の詳しいご説明のお陰で、普段は見過ごしている風景を江戸の町並みを思い浮かべながら歩くことができました。本当に楽しく勉強になりました。参加して良かったです。

A：屋敷跡や暗殺現場、江戸城址など歴史の舞台が連続しており、江戸時代の風景を想像しながら歩くことができた。

A：江戸城の城郭の大きさ、多くの門があること、その門が枡形となっていて、高麗門と渡櫓門等で構成されていること、その構成の理由、石垣の積み方など、多くのことを見て歩きながら学びました。天気も良く、気持ちよく歩けました。



▲桜田門（高麗門）



▲桜田門（渡櫓門）

A：江戸城周辺など、車で通りすぎることはあっても、じっくり歩いたことはありませんでした。やはり実地を歩くことの大切さを思いました。

A：いつも通っているのに普段行かない場所に色々行けたので楽しかったです。

A：江戸という観点から見て歩くと、新しい発見がたくさんあった。皇居をこんなに意識して見たことがなかったので新鮮だった。

A：今回歩いたコースは、ほとんどが普段よく通る場所だったが、普段何気なく見過ごしている場所に江戸時代というスポットを当てると、思わぬ発見があった。

A：案内板も充実しており、歩道も整備されていて快適に歩くことができました。また、主催者の説明も良かったと思います。

A：四谷見附・赤坂見附の外堀から桜田門、東御苑を通り田安門に至る江戸城縦断コースで、通して歩いて江戸城の広さが実感できた。

A：コーディネーターの知識の豊富さに感動です！ 検定過去問、ちょっと難しかったけど、新たな江戸の魅力を感じられました。古地図の見方が分かった。

A：いまさら聞けない何とかという番組がありますが、知らないことが身近な場所にいっぱいありました。本当に勉強になりました。

ー：日頃見慣れている町並みも、歴史を振り返りながら改めて観察すると、大変貴重で興味深いものであることを実感しました。

2. ◆特に魅力的だったところ

○四谷見附跡：四谷見附の周りは良く通っていましたが、タイルで見附の跡が示されている事は初めて知りました。



○喰違見附跡：名前を初めて知りました。高台にあり景色のいいところでした。

○喰違見附跡：地形が当時とあまり変化していないようで、岩倉具視の暗殺がリアルに感じられた。



▲喰違見附跡



▲弁慶堀

○弁慶堀：外堀でありながら、良く残っていて淵の緑が美しい。

○紀尾井坂：都心にあんな急な坂は珍しい。

○赤坂見附跡の石垣の黒田家の刻印：何度もこの前を通っていながら見付けられず、今回初めて発見。

○平河天満宮：鳥居、常夜燈、狐、牛、狛犬など狭いながらも色々取り揃っているところがいい。

○平河天満宮：こじんまりした、しかししっかりした神社。参道の向きと本殿の向きが合っていないのが不思議。



○平河天満宮：天満宮は、幹線道路の内側にあり気がつきませんでした。今回歩いたルートがこの周辺の旧道であることがわかりました。

○江戸城の各門：いくつもの門があるが、位置関係を俯瞰的にとらえることができた。どの門も立派だった。

○半蔵門から柳の井、桜田門：都心とは思えない雄大な堀の景観。

○柳の井：土手の上からかすかに見えた。



○桜田濠：濠の水面の広がり土塁の緑が美しく、良く維持管理されている。

○皇居縦走（桜田門～田安門）：懐の深さと外国人の多さに驚きました。上杉家跡のレンガ造り建築が素敵。

○桜田門：葵の御紋ではなく、菊の御紋章があるのをK氏が発見した。

○桜田門：桜田門外の変の歴史の現場であること。高麗門から右に曲がると正面に渡櫓門という構成の理由などを学べた。

○桜田門、二重橋、坂下門、大手門、東御苑、平川門：お天気もすごく良かったため、皇居（江戸城）周辺の緑がとても綺麗で感動的でした。



▲桜田門



▲二重橋と間違えられる正門石橋

○桜田門、二重橋、坂下門：江戸城の詳細な説明は、自分一人で調べながら歩いたときより、より深く理解できました。

○二重橋：手前の橋が二重橋とばかり思っていたが、奥の方の橋だった。

○二重橋：駅はしばしば利用しているが、橋をじっくり見たのは初めて。

○正面石橋：奥の正面鉄橋が二重橋だとは知らなかった。

○東御苑：初めて中に入りましたが、広大な敷地に緑豊かで、落ち着いたとても良いところでした。天守閣を再建しようとした名残の石垣が印象に残りました。

○東御苑：本当に滅多に入らないので全てわくわくしながら見ていました。木々がそれぞれ立派でした。

○東御苑：こんな所まで入れることは知らなかった。中にいると都心とは思えない。

○江戸城の石垣：石積みが美しい。切り込みはぎ、打ち込みはぎ、野面積み等の石の積み方を知ることができた。石積みを担当した大名達の競い合いの成果、職人達の技術の高さがわかる。



▲平川壕と本丸の石垣

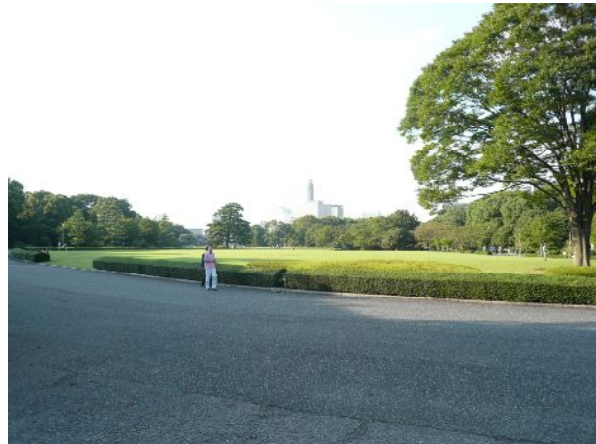


▲北桔橋

○本丸御殿跡：松の廊下跡や大奥がこの広場に在ったのかと思うとその大きさを実感できた。天守閣が明暦の大火後も築城されず、石垣だけであったことは興味深い。



▲本丸天守閣の石垣



▲本丸跡

○江戸城本丸御殿跡：各藩の屋敷もまったくといって残っていないことと併せ、本丸の建物跡が芝生となっていたのが寂しく、260年以上も続いた時代とは思えないような気がします。改めて火事は怖いです。

○平川門：不浄門といわれる常曲輪門が城内とは通じておらず、どのように利用されたのか興味を持った。



▲平川門（渡櫓門）



▲平川門（帯曲輪門）

○平川門：職場は平川門側でまさに鬼門らしいので、実際に見てみたかったので。華やかな江戸の裏側を少しだけ垣間見た気分でした。

○平川門：不浄門の話は、別世界のイメージがある江戸城内と城外をつなぐ接点になりました。どのように使われていたのかという疑問に対して答えはわかりません。曲輪を通してとも考えられますが竹橋門に通じており曲輪を通る意味がわかりません。

3. ◆その他、今回の企画や気づいた点など

○江戸検定1級の一步さんの知識の豊富さには驚きます。常に命がかかっていた当時の政治、生活、それに比べて今の生ぬるい（平和な）世の中。幸せなのか不幸なのか、100年後平成永田町検定1級の方はどのように解説するのでしょうか。（A. T）

○案内者の豊富な知識に感動するとともに、調査力に敬服いたしました。普段断片的に歩いていた江戸城内について、歴史的背景の説明が加わり大変理解が深まりました。江戸検定1級は中途半端な勉強では太刀打ちできないことを実感しました。（H. Y）

○一步さんの説明は、江戸文化歴史検定の過去問を織り交ぜ、楽しく江戸城を理解する上で大変ためになりました。ご案内ありがとうございました。大江戸探索ツアーは、番外編ではなく、是非ともシリーズ企画を希望します。（M. F）

○初めて参加させて頂きましたが一步先生の解説がとても判り易く、素晴らしかったです。皆で一緒に歩くことが楽しくて、途中で挫折そうになった時も励ましてくださった方々、本当にありがとうございました！（C. M）

○途中から参加で残念な位、前半魅力的な場所が多い感じがします。紀尾井坂とか行きたかったです。今度個人的に行きます。地図に載っていた家紋に興味を惹かれました。一步さんの説明が判りやすく、帰りの電車の中で地図を広げて復習をしようとしたらやっぱりメモが読めなかった。撮影した画像見たら警視庁、気象庁メインでした。

（内緒）（M. H）

○素晴らしい企画でした。再度、江戸をテーマにした企画をお願いします。（K. T）

○瓦の紋章についての考察など、皆さんさすが、とあらためて感じ入りました。私にとっては、江戸地図の見方（門のあるほうが上）を教えていただいたことが大発見でした。次回（？）の町人町ツアー（？）期待しています。（T. H）

○一步さんの丁寧な説明と豊富な資料のおかげで理解が深まった。東京に住んでいても、知らない場所が多かった。ぜひ、第2弾をお願いします。（H. M）

○都心を歩くといつも思うのは、この場所とこの場所が、こんな形でつながっている、ということがよく理解できること。地図ではわかっていることも、実際に歩くとさらによくわかる。（T. K）

○大名屋敷シリーズの次は、お江戸エキスパートと歩く町人の暮らしが感じられるシリーズを希望。買い食い、お買物、たくさん出来たらいいな。（H. Y）

◆主催者より さすが 32 の目で見ると、新たな発見があるものです。私も何度も歩いた道ですが、初めての発見がいくつかありました。二重橋の説明で、うんうんとうなずきながら熱心に聞かれた方が飛び入り参加、最後の九段下まで合流されるという楽しいハプニングもありました。天候にも恵まれ、見所も盛りだくさんで、楽しい一日でした。(百街道一歩)